

令和5年度がん検診のお知らせ

TOPICS

がん検診の重要性を知って頂くために



我が国のがんの状況

国立がんセンター研究センターの「がん統計2021」によると、我が国では、年間約100万人ががんと診断され、約37万人ががんで亡くなり、約163万人が継続的にがん治療を受けています。生涯がん罹患リスクは、男性63%、女性47%で、日本人の2人に1人ががんになるとされています。がんは60歳を過ぎると急速に罹患率が増加しますが、若い年代では女性の方が1.6~3倍多くなっています。一方、がん検診の受診率（40-69歳）は、OECD（経済協力開発機構）加盟国が70-80%であるのに比べ、日本は40%台と非常に低くなっています。

がんの予防

がんにならないための一次予防（健康教育、食事・運動を含めた保健指導など）が重要であることは言うまでもありません。現在、各がん種別にリスクファクターが判明していますが、肥満、飲酒、喫煙、ウイルス感染などが共通したものです。特に感染は男性では原因の2位、女性では1位になっています。代表的な感染として、B型・C型肝炎ウイルス（肝がん）、ピロリ菌（胃がん）、ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん）などです。検査や治療、ワクチンが確立しているものもありますので、是非ご相談ください。予防には、5つの健康習慣が推奨されています。禁煙（受動喫煙防止も含めて）、節酒、食生活の見直し（減塩、野菜や果物の摂取、熱い食べ物を避ける）、身体を動かす、適正体重を維持する・・・です。この5つの健康習慣を実践する人は、0または1つ実践する人に比べ、男性で43%、女性で37%がんになるリスクが低くなるという推計が示されています。ただ、がんは高血圧、糖尿病、心脳血管疾患などの生活習慣病と異なり、一次予防には限界があり、二次予防（健診）が重要な疾患です。リ

スクファクターなどまったくくないのに、罹患する人が少なくないからです。正常細胞ががん化し、早期がんになるにはある程度の年月を要し、早期がんから数年で進行癌へ移行します（がんの種類や性質により異なります）。早期がんのうちに発見し、早期治療することが重要です。

推奨されているがん検診

現在、科学的根拠に基づいて効果があるがん検診として、胃、大腸、乳腺、子宮、肺の5種類のがん検診を国は推奨しています。これに前立腺がん検診、肝臓がんの原因の一部となる肝炎ウイルス検診を加え、各市町村が事業として行っています。早期胃がんは内視鏡的治療が可能なものもあり、大腸がん検診の精検で行なった内視鏡検査で、将来のガンになる可能性のある腺種性ポリープを芽のうちに摘除される方も多いです。

当院でのがん検診の申し込み

当院では、令和5年度がん検診の受付を開始しております。この2-3年は、コロナ禍でがん検診を自粛された方も多いと思います。がん検診は在住市町村により、受診のルールに差異がございます。厚木市在住の方はすべてのがん検診が当院で受診できます。70歳以上は無料であり、70歳未満の方も補助が出ますので、ぜひ令和5年度のがん検診も受診頂くようお願いいたします。その他、海老名市在住の方は肺がんを除くすべてのがん検診、伊勢原市の方は乳がん、子宮がん、愛川町、清川村在住の方も一部の項目を当院で受検出来ます。詳細は、1階受付や案内所でお問合せ下さい。また、オンラインでの予約も可能です。胃がん検診に関しましては、予約頂いた日は、問診と実際の施行日を決定するための来院日となります（オンライン予約日に施行するわけではございません）。その他のがん検診は、予約日に施行となります。予約方法につきましては、ホームページや院内掲示等でご案内していきます。

院長 河野 昌史



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950

